

West Coast Pro Truck “TOYOTA SPEEDWAY at IRWINDALE”

プレスリリース



2008 年のシーズン開幕戦は今年から新たに TOYOTA SPEEDWAY と名称を変更した Irwindale での開催です。

古賀のホームレーストラックアーウィンデルレースウェイでもあり、ハリウッドからもっとも近いレーストラックの為、チャーリーズエンジェル等の映画の撮影場所としても有名なスポットです。

今シーズンの最も大きなトピックは参戦車両を “TOYOTA TUNDRA” に変更になりました。

2004 年からは NASCAR の持つ 3 つの国内選手権のひとつ、クラフツマン・トラック・シリーズに参戦を開始し、2006 年にはダブルタイトルを獲得しております。

3月29日(土曜日)

Practice (公式練習走行)

前日のテストがマシンのシェイクダウンとなった為、油圧・水温等を確認しながらピットインを繰り返す。ギヤ比の設定が悪く、ストレート走行時にエンジン回転がレブリミッターにあたってしまふ症状が出る中、7番手タイムで終了。

Qualify (予選)

8台が同時にタイムアタックをするグループ方式で行われた予選では、練習走行時からのギヤ比の問題でストレートで失速してしまうが、この日のベストタイム 20 秒 752 で予選 6番手で通過する。

Race (決勝)

例年以上に寒いカルフォルニアの午後 20 時から決勝レーススタート。

前座レースではその寒さが影響してか、路面温度の低下によりクラッシュが続出する荒れたレース展開であった為、前者入念にタイヤを暖めた後スタート。

古賀はレース中にもギヤの問題を抱えている為、ストレートスピードが乗らない中 6 位のポジションをキープしながらの走行。コーナーでは追い詰めるもまたストレートでは話されてしまう苦しい状況が続く。

レース後半 30 週の時点で後続マシンがクラッシュした為、イエローフラッグが振られた後に再スタート。再スタートでの混乱をうまく利用しカーナンバー 04 をターン 4 から抜き去り 5 位でフィニッシュ。



ドライバー 古賀琢麻：レース終了後コメント

マシンのシェイクダウンだったレースとしては、まずまずだったと思います。

問題点もはっきり判っているので、来週末のレースでは更に上位を目指してがんばります。

クルーチーフ Rick Miyaji

シェイクダウンレースとしては良い結果だと思います。

ギヤの問題は判明しているので、来週末のレースまでには完全な状態でレースに挑みます。

